

第5学年 6月

単元名「みんなでさぐる小数のかけ算・わり算」

(14時間)

- 単元の目標 (小数) × (整数) や (小数) ÷ (整数) の計算の意味やその仕方について、整数の場合をもとにしたり、小数の仕組みや計算のきまりをもとにしたりして考え、計算の意味や仕方を理解し、計算することができる。
- 単元の指導計画

| 時 | 学習内容 | 学習形態 |
|---|-------------|---------|
| 1 | オリエンテーション | T・T |
| 2 | 小数のかけ算 | 部分的に少人数 |
| 3 | 小数のわり算 | 部分的に少人数 |
| 4 | どんな計算になるのかな | 少人数 |
| 5 | 算数のまど | 少人数 |

3 単元構成

| 時間 | ねらい | 学習活動 | 算数的活動 | 交流の場 | その他 |
|----|-----------------------------------|---|---------------------------------------|--|------------------------------------|
| 1 | 日常の場面から小数を使った問題を作成し、単元の見通しを立てる。 | ・ジュースなどの具体物を使い、問題を作成する。 ・問題から式を立て、既習の内容か、まだ習っていないかを判断させ単元構成を考えさせる。 | 具体物から問題を作成し、立式する。 | 同じ問題をまとめたり、新しい問題を作成したりできる場面 | ペットボトル0.5リットル、2リットルジュースの缶0.2リットルなど |
| 2 | (小数) × (整数) の意味を理解し、その計算ができる。 | ・(小数) × (整数) の計算をこれまで習った計算と比べる。 ・0.1が何個あるかをもとに計算できる。 | まず図で計算の様子を表現できそれを使い説明できる。 | 計算の仕方でも累加、単位の換算などいろいろな方法で求める場面 | T・T |
| 3 | (小数) × (1位数) の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。 | ・前の時間の0.1が何個かをもとにしたら既習の筆算になることを確認する。 ・小数点がかけられる数と同じ位置の理由を説明する。 | まず図を数直線に書き直すことができる。 筆算の形に書くことができる。 | これまでの学習と比較する場面 小数点の位置がどうしてそこか説明する場面 | T・T |
| 4 | (小数) × (2位数) の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。 | ・前時の筆算の仕方と比較し、仕方を考える。 ・答えの集数点以下の0の処理の仕方を知る。 | 前の時間から計算方法を推論できる。 | 小数のことをもとに小数手の位置の書き表し方について | 少人数 |
| 5 | (小数) × (整数) の練習問題ができる。 | | | | 少人数 |

| | | | | | |
|---------|---|---|---------------------------------------|--------------------------|-------|
| 6 | (小数) ÷ (整数)の意味を理解し、その計算ができる。 | ・(小数) ÷ (整数)の計算をこれまで習った計算と比べ0.1が何個あるかをもとに計算できる。 | いろいろな単位を使い計算方法を考えることができる。 | 小数を整数で割ることの意味を考える | 少人数 |
| 7 本時 | (整数) ÷ (整数)で商が小数になる計算の仕方を理解し、計算できる。 | ・2 ÷ 4の計算の仕方を考え、2は0.1が20個であることから計算する。 ・他の問題にもこの計算を当てはめる。 | 0.1から0.01の考え方を導き出す。 | 0.2が0.01が20個と考えて計算を進める場面 | 少人数 |
| 8 9 | (小数) ÷ (1, 2位数)の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。 | ・これまでの学習で0.1が何個かをもとにしたら既習の筆算になることを確認する。 ・小数点がかけられる数と同じ位置の理由を説明する。 ・商が1位数に立たない場合について考える。 | これまでの学習を本に既習の筆算に直すことができる。 | 既習の事項からわり算の筆算を発見していく。 | T, T. |
| 10 | (小数) ÷ (1, 2位数)の筆算でわり進む計算の仕方を理解し、その計算ができる。 | ・7 ÷ 4でわり進める場合、0.1や0.01を単位にしていけばよいことに気づかせ筆算できる。 | わり進めるために0.1が何個だけでなく0.01が何個か考えることができる。 | 割り切れないときどのように考えていけばよいか | T, T. |
| 11 | (小数) ÷ (1, 2位数)の筆算で商を適当な位までの概数で表す計算の仕方ができる。 | ・わりきれない場合の商の処理の仕方について理解し、商を概数で表す仕方を理解する。 | 概数の考え方を小数の筆算に応用できる。 | 商を概数で表す場合どこまでの位商を求めるか | 少人数 |
| 12 | (小数) ÷ (整数)の練習問題ができる。 | | | | 少人数 |
| 13 | 小数の乗除演算を自ら決定しながら、問題を解くことができる。 | ・問題文から除法か乘法かを判断し、計算できる。 ・自分で問題を作成し解決する。 | 簡単な問題に直し立式できる。 | 何算を使うかをどう判断するか | 少人数 |
| 14 | わり算の性質を利用して簡単なわり算にして計算する方法を考える。 | ・わられる数、わる数に同じ数でかけたりわったりしても商は同じという性質を利用して計算を簡単にして解くことができる。 | 同じ数をかけたわり割ったりしても商は同じことを利用し計算できる。 | けい子とかずおの求め方どちらが便利か | 少人数 |